



今号は
3月定例会のあらましを
お知らせします

平成27年3月定例会は、2月22日(日)から3月17日(火)までの24日間にわたって開かれました。

今定例会では、市長から提出された議案20件、市民等から提出された陳情4件、議員が提出した議案1件を審議しました。

3月定例会の 主な議案

和光市まちづくり条例の一部を改正する条例を定めることについて

【原案可決】

安全かつ安心で快適なまちづくりを推進するため、雨水による冠水及びごみ処理などの問題解決に向けて開発行為等の適用対象の基準を見直し、1年以内の開発行為等の適用対象に共同性及び一団の土地の開発行

為等の規定を加えることについて原案のとおり可決しました。

和光市介護保険条例等の一部を改正する条例を定めることについて

【原案可決】

新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施に係る関係条例の規定の一部改正、第6期介護保険事業計画における介護保険料率の改定、介護保険法及び関係する基準省令の改正に伴う

和光市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例を定めることについて

【原案可決】

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、平成27年度から適用する特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額(保育料)の必要な事項を定めることについて原案のとおり可決しました。

市長の施政方針に対し各会派の代表が質問

●緑風会

吉田武司

質問▼南北格差の解消や公共施設の適正配置を見据えた整備の推進として、下新倉小学校・アーバンアキア公園の整備などが述べられているが、このほか、どのような整備をする必要があるのかを伺う。

答弁▼南北格差の解消については、駅北口土地区画整理事業を推進していく中で、出張所機能の拡大など行政機能の格差や道路環境など社会インフラの格差を解消するための所要の整備が必要と認識しています。

●新しい風

猪原陽輔

質問▼従来の公共施設の枠にとらわれない市民ニーズやまちづくりと一体となつたより多機能で利便性の高い施設への転換について見解を伺う。

答弁▼施設の統廃合に向けては、財政負担の軽減や平準化を図りながら、公民連携による市民ニーズを見据えた、多機能で利便性の高い施設への転換を図りたいと考えています。

その際、具体的なあり方の検討において、市民参加等も必要であると考えています。

●日本共産党 吉田けさみ

質問▼2012年度時点で、子どもの貧困率は、過去最高の16.3%で6人に1人が貧困状態だとされている。貧困対策として、就学援助金制度の支給基準の引き下げと援助内容の拡充について考えを伺う。

答弁▼厳しい財政状況であり、援助対象の拡大については従前どおりとし、援助対象内容も維持します。

●公明党

村田富士子

質問▼戦後70年、市制45周年の節目の年として、非核平和都市宣言など確かな足跡を残す平和事業実施の考えを伺う。

答弁▼毎年、平和祈念講演会を開催しています。平和祈念パネル展示会では、戦後70年の節目として、実物資料の展示を予定しています。また、下新倉小学校の開校に合わせて、長崎市の被爆クスノキ二世を植樹する予定です。非核平和都市宣言は、和光らしい形がでないか検討したいと考えています。

陳情

市民等から陳情4件を受け付け、参考人招致のもと審議しました。

ふるさと納税に関する陳情 【趣旨採択】

平成27年4月1日より和

光市総合体育館では施設利用に係る四市扱いが撤廃されます。「ふるさと納税した納税者を市の施設利用に係る『市民扱い』とする」とを「ご検討いただき本旨を受け入れられる事を願っています。」

※陳情第4号の「ふるさと納税」に関する陳情は、みなし趣旨採択となりました。

【不採択】

集団的自衛権行使容認の「閣議決定」の撤回と立法作業中止を求める意見書提出に関する陳情

「閣議決定」を撤回するとともに、集団的自衛権行使のための立法措置を中止することをふまえた意見書を政府関係機関に提出することをお願いします。

※紙面の都合により原文から抜粋した一部を掲載しています。

平成26年度一般会計及び特別会計等補正予算【原案可決】

一般会計では、歳入歳出にそれぞれ1億3,838万6千円を減額し、総額を242億4,688万7千円とする案を原案どおり可決しました。

一般会計

歳入の主な内容

- 地域住民生活等緊急支援のための交付金(地域消費喚起・生活支援型) 5,035万6千円
- プレミアム付商品券支援事業補助金 3,000万円
- 社会資本整備総合交付金(アーバンアキア公園整備等) △1億5,710万円
- 土地売却収入 3億1,976万6千円

歳出の主な内容

- 地方版総合戦略進行管理 1,000万円
- 道路管理(市内防犯カメラ設置工事) 413万6千円
- 在宅障害者支援 4,258万円
- 道路補修(大雨雨水排水対策工事) 4,181万9千円
- 臨時福祉給付金支給 △8,124万1千円
- 民間保育園新設 △1億218万8千円
- (仮称)放課後図書室開放 427万4千円

会計名	補正額	補正後の金額
一般会計	△1億3,838万6千円	242億4,688万7千円
特別会計		
国民健康保険	△3,679万6千円	75億1,581万6千円
介護保険	△57万4千円	32億2,788万6千円
和光市駅北口土地区画整理事業	△9,520万2千円	3億4,490万4千円
下水道事業会計		
収益的収入	△7,157万円	9億4,295万5千円
収益的支出	1,921万2千円	10億7,551万8千円
資本的支出	△3,567万7千円	5億923万5千円

平成27年度当初予算【原案可決】

会計名	予算額	前年度予算額	増減額	増減率
一般会計	268億900万円	227億5,600万円	40億5,300万円	17.8%
特別会計				
国民健康保険	81億1,608万3千円	71億4,313万3千円	9億7,295万円	13.6%
後期高齢者医療	6億2,489万9千円	5億9,952万3千円	2,537万6千円	4.2%
介護保険	30億8,827万1千円	31億1,480万5千円	△2,653万4千円	△0.9%
和光市駅北口土地区画整理事業	6億7,176万1千円	4億5,288万7千円	2億1,887万4千円	48.3%
総計	393億1,001万4千円	340億6,634万8千円	52億4,366万6千円	15.4%
水道事業会計	22億8,093万8千円	16億6,768万2千円	6億1,325万6千円	36.8%
下水道事業会計	16億2,271万9千円	15億8,764万6千円	3,507万3千円	2.2%

※各委員会での審査内容は、8~9ページをご覧ください。

1 駅北口土地区画整理事業

赤松祐造 (和光・まちづくり市民の会)

質問▼市施行の駅北口区画整理は和光市にとって最重要課題であり、訴訟問題も起きている。また、いなげやから駅北口までの県道幅と不備な歩道整備・バリアフリー化の推進は早急な課題だ。事業進展の為に市長自ら先頭に立って取り組めるか伺う。市長▼行政不服審査の手続に則って行うこととなります。道路の幅は区画整理の中で急いで行います。また、話し合いがつき次第、適切に処理し実現のために全力を尽くしていきます。

このほか、まち・ひと・しごと創生法、障がい者福祉政策、障がい者自立支援、南地区の悪臭公害防止、湧水環境調査報告と今後の取り組み、市内井戸、湧水の災害時の活用などの質問をしました。

2 市民参加による農業委員会設置

金井伸夫 (和光市政を改革する会)

質問▼和光市の農地面積は狭いため農業委員会を設置しなくてもよい市であるが、農業関係者のみで構成される委員会を市民参加による委員会に改めたいかがか。市長▼農業施策については、都市農業を守っていく、またそれは地域の資産であると考えています。農業委員会を尊重し、地域の都市農業を振興していきたいので、農業者の中での意見交換で、良い施策が展開されていくことが理想です。これまでの農業委員会の委員構成に係る経緯を踏まえた中で市民参加は必要ですが、今後の課題とさせていただきます。

このほか、畜産農地に係る悪臭公害対策、駅北口土地区画整理事業などの質問をしました。

3 焼却炉の延命工事と今後について

須貝郁子 (新しい風)

質問▼平成2年に建設された焼却炉の耐用年数は15年、延命工事をすると30年間稼働できるとされている。平成23年作成の延命工事計画では定期修繕を含め5カ年間で7億5千万円とされていたが反故にした。一昨年度作成の保全計画では10年間で21億円と試算している。炉は既に25年経過し延命工事は必要。制御装置など主要部の更新であり過剰修繕ではない。また広域化の交渉はいつまでに行うのか。市長▼予算を無駄にしないように修繕、交換していきます。広域化については負担も出てくるので一歩踏み出せないかと思っています。

このほか、学校給食、緑地保全などの質問をしました。

4 寄附採納による市道認定基準は

駒井政公 (新しい風)

質問▼安全に問題のある、寄附採納による行き止まり道路の市道認定基準はどのようになっているのか伺う。建設部長▼市道認定については、都市計画法第32条の規定に基づき協議を行い、市の基準に適合し、維持管理上も支障がない場合は、原則として認定しているところであります。今後の市道認定の判断基準については、市民への影響も大きいことから、他の自治体等の状況等も調査研究し、市道認定に関する基準を定めていきたいと考えています。

このほか、歩道築造に係る構造基準などの質問をしました。

5 市民文化センター運営の課題と今後の展望は

待鳥美光 (新しい風)

質問▼文化振興の中核施設である市民文化センター運営の課題と次期指定管理期間に向けた展望について市の見解を伺う。企画部長▼市民文化センターは文化振興基本方針に則り地域の文化芸術活動活性化のため、場所や情報の提供、市民の文化活動支援等を行っています。現状、経費の削減、施設稼働率の向上等運営状況は改善していますが自主事業の収支比率・入場者数に課題があります。今後、管理運営状況、市民サービス、築き上げてきた文化の継続性等を総合的に判断し、指定管理者の選定方法を検討していきます。

このほか、マイナンバー制度、地域福祉と地域包括ケアシステム、協働推進などの質問をしました。

6 中学校建設は

吉田武司 (緑風会)

質問▼新設小学校の校歌・校章はどのように決定するのか。また、小学校建設の進捗状況を見極めた中で、検討していくとしている中学校建設に対する考えについて伺う。教育委員会事務局審議監▼広報わこう4月号、ホームページ等により、広く一般公募します。公募期間は平成27年4月1日から5月29日を考えています。中学校建設の必要性については、教育委員会だけではなく市長部局も含めて、全庁的な検討が必要です。

このほか、高齢者の防災防火の取組、緊急車両出動のサイレン、農業を活用した障がい者就労支援、自治会支援などの質問をしました。

7 アーバンアクア公園の今年度の事業の進捗と事業の早期実現を

齊藤秀雄 (緑風会)

質問▼平成26年度より28年度までで本格的整備を行うとしていたが、国庫補助金の実行額は53%の8千万円との報告だ。当初3年間で国より4億円、市が4億円の計8億円との計画からすると、いつ開園できるのか不安になる。優先度Aの実施計画の早期実現を伺う。建設部長▼今年度の国の交付金が8千万円と厳しい内容となり、市の負担割合をあわせた事業費1億6千万円に圧縮した中で整備内容を修正しています。平成27年度以降も交付金が減少となるようであれば、事業期間の延長も検討せざるを得ないものと考えています。

このほか、ふるさと納税、新設小学校の平成28年度の予算の枠組みなどの質問をしました。

8 市営荒川河川敷運動公園へのアクセス道路の改善を

阿部かをる (公明党)

質問▼車体が傷つきかねないほどのでこぼこ状態が長年続いている。解決策について伺う。建設部長▼当該道路については、利用者から改修等の要望が多く寄せられており、管理者である荒川上流河川事務所に対し、その対応を強く要望し、昨年12月には、当該道路の地ならしをする整備が行われました。今後も、利用者の安全性、利便性に配慮していただければ幸いです。

このほか、アーバンアクア公園整備へ利用者の声の反映、庁舎及び和光市駅のバリアフリー対策などの質問をしました。



常任委員会の審査

常任委員会に付託された議案の主な審査内容を報告します。付託とは、本会議における議案の議決に先立ち、議員で構成する各常任委員会に審査を分割して任せることです。

総務環境常任委員会

議案第11号 和光市まちづくり条例の一部を改正する条例を定めることについて【原案可決】

問 小規模開発行為を行う区域外において、雨水及び汚水を有効に排出するために必要な措置を講ずるとは。 答 小規模開発行為においても適切な雨水・汚水処理を規定しました。面積にあつた処理をしない開発行為を取り締まります。 議案第17号 平成27年度埼玉県和光市一般会計予算(分割付託) 【原案可決】

問 公共施設等総合管理計画作成業務委託料の作成方法は。 答 橋梁・道路なども含めた公共施設の整備計画の基本を示すものです。これをもとに次年度以降、委員会を設置、意見募集をし、1、2年かけて計画を作ります。 問 外環蓋掛け上部(丸山台地区)利用の有効利用検討委託料の内容は。 答 バスターミナル構想がありま

す。農協側の構造上2トン荷重の方からの出入りを想定した補強の方法等の基礎調査です。 問 路面下空洞化調査業務委託料はどのように実施するのか。 答 重要輸送路線と地域防災計画に位置づけられている路線について路面性状調査と合わせて実施します。 問 気象情報によつては、事前に高齢者などが土のうを置きたい

場合の対応は。 答 事前にお渡しできる体制にします。 問 職員互助会補助金の減額理由は。 答 現在の補助金、職員1人当たり年間約1万3000円を見直し、埼玉県内平均の約6千円に引き下げます。 議案第21号 平成27年度埼玉県和光市和光都市計画事業和光市駅北口土地区画整理事業特別会計予算 【原案可決】

問 地権者の皆様の同意はどれくらい進んでいるのか。 答 17街区においては、審査請求も出ています。また、事業に対しては理解している方でも工事については承諾をいただけない方もいます。 議案第22号 平成27年度埼玉県和光市水道事業会計予算 【原案可決】

問 南浄水場の増築改良工事による、水道料金への影響は。 答 工事は内部留保資金を活用するため、料金に跳ね返ることはありません。 議案第23号 平成27年度埼玉県和光市下水道事業会計予算 【原案可決】

問 越戸川第12排水区雨水管整備事業の概要は。 答 先般の豪雨等を鑑み、北原小学校付近のコンビニエンスストア前の県道の排水も取り込むための整備です。

3月10日(火)

農地の土砂流出対策に 市の支援体制の強化を

村田富士子
(公明党)

質問▼昨年6月の集中豪雨では、農地の土が大量に流出し、床上・床下浸水を引き起こした。雨水流出抑制の工事が進められるが、農家へのさらなる支援など、市の支援体制の強化を求める。

市民環境部長▼農地所有者には、対策を講じるよう個別に申し入れ、農家だよりも周知しました。土留め、鋼板、溝の設置などの対策がなされました。さらに、緑肥作物の活用を促すなど啓発に努めます。

市長▼複合的な手だてが必要と考えており、農家とコミュニケーションをとりながら取り組んでいきます。

市民要望と 市内循環バスの改善

佐久間美代子
(日本共産党)

質問▼より多くの市民が利用できる市内循環バスの改正案を伺う。

建設部長▼運行改正案における主な改正点として、中央コースは双方向運行とし、埼玉病院へのルートの追加及び藤ノ木橋バス停を復活します。バス停は北コースに、下新倉小学校バス停と和光北インターバス停を、南コースに、和光郵便局バス停と団地センター前バス停を新設します。そのほか、中央コースと南コースの乗り継ぎを埼玉病院でできるように設定します。改正日は、平成28年4月1日の予定です。

このほか、行財政運営、平和憲法、道路整備、国保事業の充実などの質問をしました。

企業の サテライトオフィスの誘致を

猪原陽輔
(新しい風)

質問▼フアシリテイマネジメントの一環として今後公共施設の統廃合を検討していく中で、稼働率の低い施設を企業のサテライトオフィスとして活用してはどうか。

企画部長▼真に需要があるか確かなマーケティングにより、採算性の検討とともに、サテライトオフィスの開設、誘致には受け皿となるスペースの確保が前提となります。今後、駅周辺の開発や公共施設の統廃合あるいは多機能型施設への転換の中で、需要に見合ったスペースの確保、創出の検討が必要であると考えています。

このほか、他市との電算システムの利用、特殊詐欺の防止などの質問をしました。

地方創生と総合戦略

斉藤克己
(公明党)

質問▼地方から東京圏を初めとする大都市部に人口が流出することにより、日本全体としての少子化に拍車がかかっているとの認識から、それぞれの地方公共団体で地域の特性を踏まえた「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を策定するよう政府から要請があったが、和光市の取り組みは。

企画部長▼平成27年度に和光市として地方人口ビジョン及び地方版総合戦略を策定する予定です。埼玉県の総合戦略を勘案し、市の実情を見極め、地域特性を生かした戦略を策定したいと考えています。

このほか、PPP・PFIの取り組みと推進体制、西大和団地再生計画での市の取り組みなどの質問をしました。

3月11日(水)

子ども医療費助成制度を 高校卒業まで拡充し無料化を

熊谷二郎
(日本共産党)

質問▼通院・入院にかかる子ども医療費助成を高校卒業まで拡充してはどうか。

保健福祉部長▼本市において高校生まで拡充した場合の医療費は、入院・通院合わせて約2千万円増加すると見込んでいます。今後の医療費の推移や本市の財政状況、制度に対するさまざまな意見等を踏まえて、和光市としての方向性を考えていきます。

このほか、子どもの貧困対策、教育行政、住宅リフォーム助成制度の創設、教育再生首長会議の市長の参加などの質問をしました。

西大和団地居住者に配慮を

吉田けさみ
(日本共産党)

質問▼西大和団地の中心地に大型店舗と高齢者支援・子育て支援の機能を持つ開発内容が示された。市は、どんな協議をしているのか。

企画部長▼西大和団地は、高齢者が多く住んでいることから、バリアフリーへの配慮のほか、来店者への駐車場整備、車歩道分離など居住者の安心・安全への配慮について、UR都市機構と十分協議・調整を図りたいと考えています。



このほか、介護サービス、保育料、防災などの質問をしました。

丸山台の外環蓋掛け上部 空地の活用を

田上安男
(緑風会)

質問▼市長は、丸山台の外環蓋掛け上部空地の有効活用を政策公約として掲げている。現在、バス路線の誘致やターミナル機能の強化とともに和光市の地域経済の活性化と発展に影響するような施設を検討しているのか。

市長▼和光市駅の乗降客の多くは駅から出ていきません。その方たちに和光市駅周辺を利用していただき地域が潤うことが重要であると考えています。任期中には、方向性を明確に出して行きたいと考えています。

このほか、防災行政、学校教育などの質問をしました。

歩道整備を

栗原次男
(緑風会)

質問▼市道408号線とオリニック道路との交差点は待機場所がなく、過去に人身事故が起きていたところで大変危険な状態である。平成26年6月定例会での質問以降の経過を伺う。

建設部長▼関係権利者に対し道路整備計画について説明し、協力をお願いしています。現行の建物の建てかえを予定していることから、これにあわせて協力する旨の回答をいただいています。



このほか、区画整理事業・和光市駅などの質問をしました。

文教厚生常任委員会

※このほか、総務や建設などに関する条例の一部改正、一般会計補正予算など4件の議案と4件の陳情が付託されました。審査の結果、議案は原案のとおり可決し、陳情は採択が1件、趣旨採択が3件(みなし趣旨採択を含む)と決まりました。

議案第7号 和光市介護保険条例等の一部を改正する条例を定めることについて【原案可決】

議案第17号 平成27年度埼玉県和光市一般会計予算(分割付託)【原案可決】

議案第10号 和光市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例を定めることについて【原案可決】

議案第20号 平成27年度埼玉県和光市介護保険特別会計予算【原案可決】

議案第12号 平成26年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第5号)(分割付託)【原案可決】

議案第20号 平成27年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第5号)(分割付託)【原案可決】

議案第10号 和光市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例を定めることについて【原案可決】

議案第17号 平成27年度埼玉県和光市一般会計予算(分割付託)【原案可決】

議案第12号 平成26年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第5号)(分割付託)【原案可決】

議案第20号 平成27年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第5号)(分割付託)【原案可決】

議案第10号 和光市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例を定めることについて【原案可決】

議案第17号 平成27年度埼玉県和光市一般会計予算(分割付託)【原案可決】

議案第12号 平成26年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第5号)(分割付託)【原案可決】

